

24 てあげました。大男は毎日、白い鳥^{とり}に食べ物や水をやりま
 25 した。昼は外へ連れて行って、夜は自分のベッドで一緒^{いっしょ}に
 26 寝ました。でも、魔女^{まじょ}にはそのことを言いませんでした。
 27 何年か経^たって¹、魔女^{まじょ}は病気になりました。毎日ベッド
 28 の上で、大男に魔法^{まほう}を教えました。それは、人^{ひと}を鳥や動物
 29 にか^かへる魔法^{まほう}でした。
 30 魔女^{まじょ}の病気がとても重くなったとき、大男は、魔女^{まじょ}が死ぬ
 31 前^{まえ}に、あの白い鳥^{とり}をもう一度王女^{おうじょ}に返^{もど}す方法^{ほうほう}²を聞かなく
 32 ければならないと思いましたから、魔女^{まじょ}に言いました。
 33 「今まで、私^{わたし}はお母さんにいろいろな魔法^{まほう}を教えてもら
 34 いましたが、魔法^{まほう}をかけて鳥や動物を人間^{もど}に返^{もど}す方法^{ほうほう}が分
 35 かりません。どうぞ教えてください」
 36 「では、教^{まじょ}えよう⁴」と魔女^{まじょ}は言いましたが、もう声^{こえ}が出
 37 ません⁵。
 38 「お母さん、聞こえません。もっと大きい声^{こえ}で言ってくだ
 39 さい。」
 40 大男は魔女^{まじょ}の口のそばに自分の耳を近づけました。
 41 「鳥や動物が、涙^{なみだ}⁶を流^{なが}せばいい⁷んだよ」
 42 魔女^{まじょ}は、それだけ言^しって死にました。

Vragen

1. Waarom werd de grote man in r. 19 verdrietig?
2. Waarom leerde de grote man magie van de heks?
3. Hoe kan de prinses terug veranderen in een mens?

¹ たつ 'verstrijken, voorbij gaan'

² もどす 'terugbrengen, terugzetten'

³ methode, manier

⁴ informele pendant van 教えましょう

⁵ もう + ontkenning: 'niet meer ...'

⁶ traan

⁷ ながす 'laten stromen'; ~ばいい = ~たらしい (zie voor ~ば Les 35 in MnN).